

# 平成29年度地域活動支援助成事業

## 世界遺産 勝連城跡及び文化財案内ガイド人材育成事業

### 【うるま市史跡ガイドの会】

先人が残した貴重な世界遺産の勝連城跡をはじめ、市内の文化遺産を後世へ繋げる事を目的に、学校教育及び生涯学習との連携を通して、うるま市の文化を広く発信するガイド人材育成事業を行いました。

夏休み中高生ガイド体験として、中城・北中城村文化財案内人サークル「グスクの会」の仲村春吉講師を招き、阿麻和利について勝連城の歴史や築城技術の説明があり、理解を深めることができました。

また、交流の深い西原町の「ニシバル歴史会」のメンバーを招待し中高生三つのグループに分かれて勝連城跡を案内しました。

ニシバル歴史会の新田宗秀さんは「中高生が先祖の残した素晴らしい史跡を勉強するという経験は素晴らしい。一生懸命やってくれてありがとう」とのコメントがありました。

また、与勝高校から参加した生徒からは、「現代版組踊り「肝高の阿麻和利」の出演がきっかけで初参加したが、案内してみても最初は緊張したけれど、途中から慣れてきてうまく話せた。学んだ歴史を友達にも教えたい」との感想もありました。

また別の日には、勝連城跡へ訪れる観光客について、個人旅行者や外国人旅行者が増加しているので、多言語を活用した案内ガイドを与勝高校の生徒5人が英語・韓国語での案内を行い、アンケート等を実施して学校新聞への作成も行いました。

今後の活動について、市や観光物産協会、他団体や地域との連携・交流を図り、ガイド活動の魅力をつくりながら、より続けやすい環境をつくって行きたいとのことでした。

